

# 2012年3月期 第3四半期 決算補足資料

1. 連結決算の状況
2. 主な子会社の業績と予想
3. 主要製品の売上の状況
4. 開発品パイプラインの状況

## 【参考資料】

5. 2012年3月期第3四半期 セグメント情報
6. 2012年3月期第3四半期 業績の状況

2012年2月3日

キョーリン製薬ホールディングス株式会社

本資料に記載されている業績予想等は、現時点で入手可能な情報により判断した予想であり、将来の業績に影響を与える不確実な要因やリスクが含まれています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。



# 2012年3月期 第3四半期 決算概観(連結)

単位:(百万円)

	09年3月期 第3四半期	10年3月期 第3四半期	11年3月期 第3四半期	12年3月期 第3四半期	前年比
売上高	66,361	74,579	75,821	77,413	2.1%増
営業利益	5,339	11,045	11,312	11,668	3.1%増
経常利益	5,451	11,860	11,848	12,358	4.3%増
当期純利益	842	7,537	7,535	7,227	4.1%減

12年3月期 (予想)	前年比
105,100	1.0%増
14,900	9.4%減
15,600	8.8%減
10,100	7.6%減

## 12年3月期 第3四半期 連結業績(実績)

【売上高】 国内新医薬品は東日本大震災に伴う流通在庫の積み増しの影響はあったものの主要製品の売上が伸長し、前年同期に対し増加となりました。海外新医薬品は前年を下回る実績となり、後発医薬品は前年同期に対しほぼ横ばいとなりました。その結果、連結売上高は774億円(前年比2.1%増)となりました。

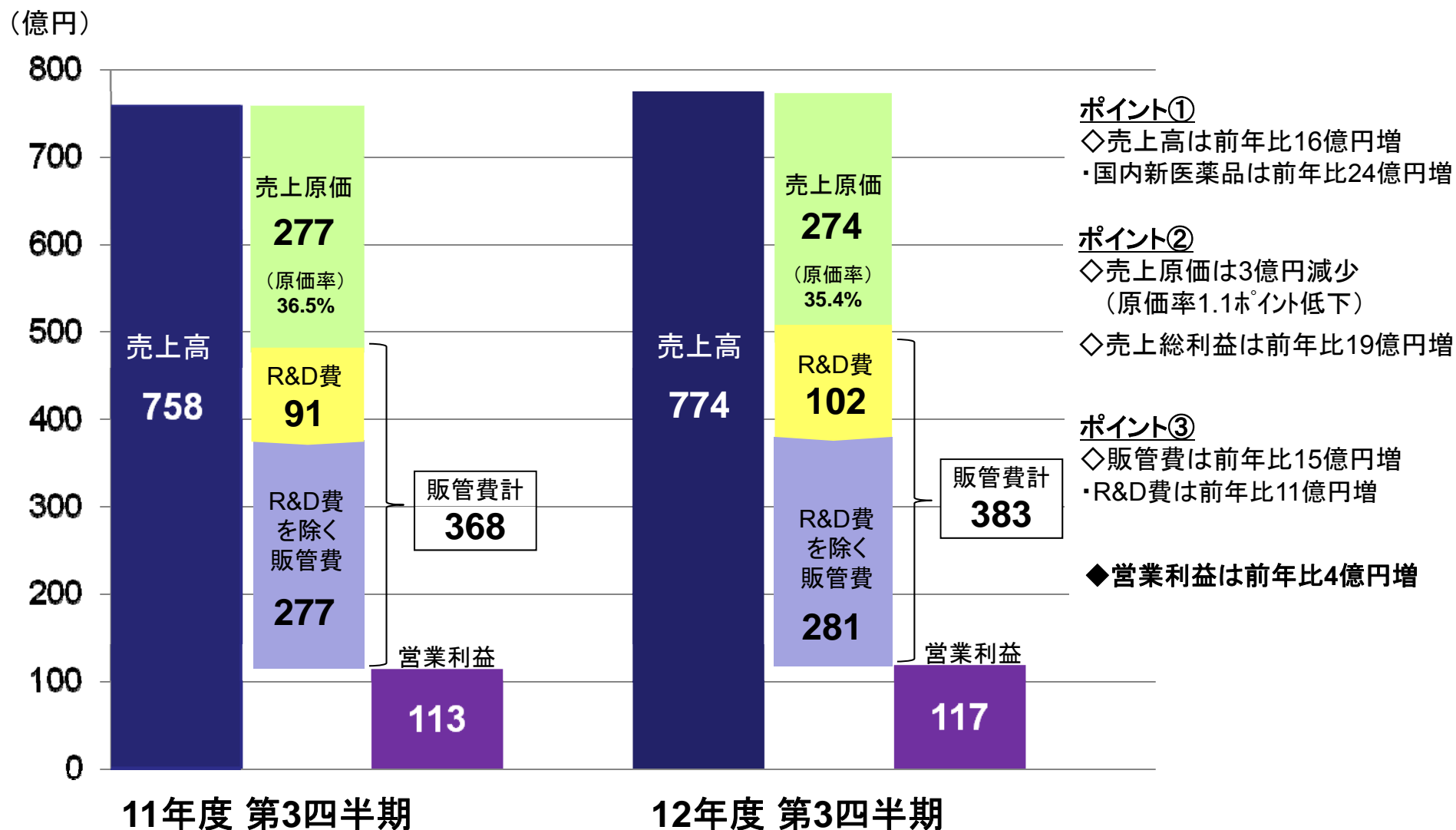
【利益】 売上高の増加、売上原価の減少により売上総利益が増加しました。また、販売費及び一般管理費はパイプラインの進展により研究開発費等が増加しましたが、営業利益は117億円(前年比3.1%増)となりました。当四半期純利益は、税制改正による繰延税金資産の取り崩し等の影響により72億円(前年比4.1%減)となりました。

## 12年3月期 連結業績(予想)

【売上高、利益】 売上高および利益の業績予想は、平成23年11月8日に公表しました内容を現段階で変更いたしません。

(予想に対する進捗度 売上高:73.7% 営業利益:78.3%)

# 2012年3月期 第3四半期 業績のポイント



# 2012年3月期 第3四半期

# 業績の状況(対前年)



(単位: 億円)

	11年3月期 第3四半期 (実績)	12年3月期 第3四半期 (実績)	対前年
売上高(合計)	758	774	+16
医薬品事業	738	755	+17
◆新医薬品	640	660	+20
○国内	622	646	+24
○海外	18	14	△4
◆後発医薬品	65	65	△0
◆一般用医薬品他	32	30	△2
ヘルスケア事業 (スキンケア)	21	19	△2
営業利益	113	117	+4
経常利益	118	124	+6
四半期純利益	75	72	△3

		対前年	
■売上高	774億円	(+ 16)	
◆医薬品事業	755億円	(+ 17)	
●国内新医薬品	646億円	(+ 24)	
11.3(3Q)実績		12.3(3Q)実績	
・キプレス	244	⇒ 276	(+ 32)
・ムコダイン	159	⇒ 160	(+ 1)
・ペンタサ	151	⇒ 142	(△ 9)
・ウリトス	39	⇒ 48	(+ 9)
●海外新医薬品	14億円	(△ 4)	
・ガチフロキサシン	15	⇒ 12	(△ 3)
●後発医薬品	65億円	(△ 0)	
・保険調剤薬局への売上は増加、他社受託生産品の売上減等			
●一般用医薬品他	30億円	(△ 2)	
◆ヘルスケア事業	19億円	(△ 2)	
●ドクタープログラムの売上減少		(△ 2)	
■営業利益	117億円	(+ 4)	
◆営業利益率は15.1%と0.2ポイント上昇			
●売上原価: 3億円減少(277億円⇒274億円)			
◆原価率: 36.5%⇒35.4% 前年比1.1ポイント低下			
・原価率の低い自社製品の売上増、工場稼働率の向上、製造費の減少等			
●研究開発費: 11億円増加(91億円⇒102億円)			
◆研究開発費率: 12.0%⇒13.2% 前年比1.2ポイント増加			
・開発パイプラインの進展(KRP104Ph2bの費用化、ペンタサPh3終了等)			
●販管費(除R&D費): 5億円増加(277億円⇒281億円)			
◆販管費率(除R&D費): 36.5%⇒36.3% 前年比0.2%低下			
■四半期純利益	72億円	(△ 3)	
・税制改正による繰延税金資産の取り崩しによる影響			

# 主な子会社の業績と予想

(単位: 億円)

杏林製薬	2011年3月期 第3四半期	2012年3月期 第3四半期
売上高	672	703
営業利益	106	112
当期純利益	72	72

2011年3月期	2012年3月期 (予想)
925	947
156	142
107	99

キョーリンリメディオ	2011年3月期 第3四半期 ※	2012年3月期 第3四半期
売上高	77	71
営業利益	5	3
当期純利益	5	3

2011年3月期	2012年3月期 (予想)
103	105
8	6
6	5

ドクタープログラム	2011年3月期 第3四半期	2012年3月期 第3四半期
売上高	21	19
営業利益	1	0
当期純利益	1	0

2011年3月期	2012年3月期 (予想)
28	28
1	1
1	1

※卸店販売ルート of 杏林製薬株への統合に伴い、初期在庫分として約6億円を売上計上しています

# 2012年3月期 第3四半期

# 主要製品売上の状況



(単位:億円)

		第2四半期		第3四半期(4月~12月)				通期	
		10年度 (実績)	11年度 (実績)	10年度 (実績)	11年度 (実績)	対前年 増減率	通期 進捗率	10年度 (実績)	11年度 (予想)
国内 新医薬品	キプレス (ロイコトリエン受容体拮抗剤)	141	157	244	276	+13.2%	75.3%	345	367
	ムコダイン (気道粘液調整・粘膜正常化剤)	94	91	159	160	+0.8%	75.0%	213	213
	ペントサ (潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤)	99	91	151	142	△6.3%	76.1%	194	186
	ウリトス(自社販売) (過活動膀胱治療剤)	24	29	39	48	+21.9%	71.9%	55	66
	ケタス (気管支喘息・脳血管障害治療剤)	20	18	30	27	△9.9%	76.3%	40	35
海外 新医薬品	ガチフロキサシン (バルク・ロイヤルティ含む)	13	8	15	12	△21.6%	70.2%	22	17
一般用 医薬品	ミルトン (哺乳びん・乳首消毒剤)	9	9	15	15	+1.4%	75.4%	19	20

# 開発品一覧①(2012年2月3日現在)

Ph II b ~ 申請中

※: 前回(2012年3月期 第2四半期)からの変更点を示す

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起源	特徴	備考
国内	海外					
※申請中 (11年11月)		ペンタサ (錠剤)	潰瘍性大腸炎	スイス フェリング社	寛解期潰瘍性大腸炎を対象とした新用法・用量 (1日1回投与)	
Ph III (10年11月)		ペンタサ (坐剤)	潰瘍性大腸炎	スイス フェリング社	活動期潰瘍性大腸炎を対象とした新剤型 (1日1回投与)	新剤型の開発
Ph III (10年8月)	(アメリカ) スカイファーマ : 申請中(09年3月) (欧州) ムンディファーマ : 申請中(10年3月)	KRP-108 (吸入剤)	気管支喘息 治療剤	イギリス スカイファーマ社	ステロイド及び長時間作用型β作動薬の配合剤で 利便性やコンプライアンスに優れる	・スカイファーマ社とライセンス 契約(08年4月) ・国内Ph II 終了(10年4月)
Ph II (08年2月)	Ph II (07年9月)	KRP-104	糖尿病治療剤	自社	DPPIV阻害剤。インスリン分泌ホルモンの分解を 抑えることにより血糖低下作用を示す。副作用の 発現が少ない糖尿病治療が期待される	・海外Ph II b 終了(11年3月) ・国内Ph II b 終了(10年3月)

# 開発品一覧②(2012年2月3日現在)

POCプロジェクト(前臨床～Ph II)

※: 前回(2012年3月期 第2四半期)からの変更点を示す

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起 源	特 徴	備 考
国内	海外					
Ph I (10年12月)	Ph II (POC) (10年12月) (ノバルティス)	KRP-203	自己免疫疾患、 臓器移植 IBD	自社	S1P受容体アゴニスト。新規メカニズムを有する免疫調整剤。既存の免疫抑制剤に比べて安全性が高く、かつ優れた併用効果が期待される	ノバルティスとライセンス契約(06年2月) 新たなライセンス契約 IBD(10年11月)
	Ph I (10年8月)	KRP-110	オピオイド誘発性便秘 難治性掻痒	自社	選択性の高いμオピオイド受容体拮抗薬。オピオイド鎮痛薬の鎮痛作用には影響することなく、副作用の便秘を改善することが期待される。また、種々の掻痒モデルにおいて掻き行動の抑制作用が確認されており、難治性掻痒の改善が期待される	
Ph II (11年8月)	Ph III メルツ社	KRP-209	耳鳴	ドイツ メルツ社	NMDA受容体拮抗作用及びニコチン作動性アセチルコリン受容体拮抗作用を有し、耳鳴に伴う心理的な苦痛、生活障害の改善が期待される	メルツ社とライセンス契約(09年11月) メルツ社: 日本人を対象とした米国でのPh Iを終了(10年3月)
臨床試験 準備中	(欧州) アルミラール社 : 申請中(11年6月) (アメリカ) フォレスト社 : 申請中(11年7月)	KRP-AB1102 (吸入剤)	慢性閉塞性肺疾患	スペイン アルミラール社	アセチルコリン受容体拮抗作用によりCOPDに伴う呼吸困難、息苦しさなどの諸症状を改善する長時間作用型気管支拡張薬 ①全身性副作用が少ない ②1日2回投与により1日を通じて症状、呼吸機能改善 ③最大効果発現までの時間が短い	アルミラール社とライセンス契約(11年2月)
Ph I (11年8月)		KRP-AM1977X (経口剤)	ニューキノロン系 合成抗菌剤	自社	①薬剤耐性グラム陽性菌(MRSAを含む)に対して優れた抗菌力 ②優れた体内動態(経口吸収、組織移行) ③前臨床試験で安全性はクリアー、高い安全性を期待	
Ph I 準備中		KRP-AM1977Y (注射剤)	ニューキノロン系 合成抗菌剤	自社		



# 開発品一覧③(2012年2月3日現在)

## 導出品の状況

※: 前回(2012年3月期 第2四半期)からの変更点を示す

開発段階	製品名・ 開発コード	導出先・ 共同研究先	薬効	起源	備考
※承認 (12年1月)	アルファガン/ アルファガンP (国内 アイファガン)	千寿製薬(株)	緑内障治療薬	アメリカ アラガン社	・アラガン社より導入 (ガチフロキサシン点眼液のクロスライセンス) ・千寿製薬(株)に導出(04年5月)
海外Ph II (05年8月)	ケタス	アメリカ メディシノバ社	脳血管障害治療薬	自社	・多発性硬化症の適応での日本、中国、韓国、 台湾を除く全世界における独占的な開発、製造 販売権を供与(04年10月) 08年4月 Ph II の結果を公表
海外Ph III (気管支喘息: 06年11月) 海外Ph II / III (間質性膀胱炎: 05年5月)	KCA-757	アメリカ メディシノバ社	気管支喘息治療薬 間質性膀胱炎治療薬	自社	・日本、中国、韓国、台湾を除く全世界に おける独占的な開発、販売権を供与 ・間質性膀胱炎: 07年1月に結果を公表、 開発を中断 ・気管支喘息: 海外Ph III一旦停止
海外Ph II (POC) (10年12月)	KRP-203	スイス ノバルティス	自己免疫疾患、 臓器移植 IBD	自社	・移植用の免疫調節剤として、全世界の開発及び 販売権、自己免疫疾患及びその他の疾患用剤と して、日本、中国、韓国、台湾を除く全世界の 開発及び販売権(06年2月) 新たなライセンス契約 IBD(10年11月)

# 参考資料

# 2012年3月期 第3四半期 セグメント情報

## 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失

(単位:億円)

	売上高		セグメント利益	
	金額	対前年	金額	対前年
売上高合計	774	+16	117	+4
医薬品事業計	755	+17	115	+5
◆新医薬品	660	+20		
○国内	646	+24		
○海外	14	△4		
◆後発医薬品	65	△0		
◆一般用医薬品他	30	△2		
ヘルスケア事業計	19	△2	0	△0
調整額	—	—	2	+0

(注)「セグメント情報等の開示に関する会計基準」及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」を適用し、報告セグメントは【医薬品事業】【ヘルスケア事業】としております

# 2012年3月期 第3四半期 業績と予想(連結)

(単位:百万円)

	第2四半期		第3四半期(4月~12月)					通期	
	10年度 (実績)	11年度 (実績)	10年度 (実績)	11年度 (実績)	前年 差額	前年比	通期 進捗率	10年度 (実績)	11年度 (予想)
売上高	46,707	46,387	75,821	77,413	1,592	+2.1%	73.7%	104,069	105,100
医薬品事業	45,373	45,155	73,751	75,495	1,744	+2.4%	73.9%	101,271	102,200
◆新医薬品	39,208	39,098	64,033	65,996	1,963	+3.1%	74.7%	88,020	88,300
○国内	37,708	38,129	62,188	64,562	2,373	+3.8%	74.9%	85,284	86,200
○海外	1,500	968	1,844	1,434	△410	△22.3%	68.3%	2,736	2,100
◆後発医薬品	4,115	4,097	6,498	6,450	△48	△0.7%	66.5%	8,871	9,700
◆一般用医薬品他	2,049	1,959	3,218	3,047	△170	△5.3%	72.5%	4,378	4,200
ヘルスケア事業	1,333	1,232	2,070	1,918	△151	△7.3%	68.5%	2,797	2,800
営業利益	4,201	4,900	11,312	11,668	355	+3.1%	78.3%	16,443	14,900
経常利益	4,542	5,253	11,848	12,358	509	+4.3%	79.2%	17,110	15,600
当期純利益	2,959	3,355	7,535	7,227	△308	△4.1%	71.6%	10,927	10,100